

公表:令和 2年 12月 4日

事業所名:今治市子育て応援ステーションばんび

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			日々の配置基準は守れているが、個別対応が必要な児童が増えているため職員配置を検討していく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		各教室構造化を行っている。 バリアフリーの配慮あり。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		子どもに目的がわかりやすい活動エリアをつくっている。	保護者からの最近見ていないからわからないという意見もある為、活動をみてもらう機会をつくる。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		朝礼・会議で話し合いを行っている。	非正規に伝わりにくい事がある為、連携の時間をとる。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		面談や電話連絡など積極的に行っている。 コロナ禍である為、ZOOM等オンラインも活用している。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公表した際に保護者に対してお知らせする機会を作る。 評価結果の公表は行えているが、今後改善の結果についても公表を検討する。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後検討する。
適切な支援の提供	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		内部研修の実施、及び外部研修への参加を行っている。オンライン学習も導入した。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者からの聞き取りにはオンライン(ZOOM)も活用している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		入園前、及び入園後も定期的に新版K式発達検査を行っている。	発達検査を行える職員を今後研修を通じて増やしていく。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			

適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個々のニーズに対してスケジュールにより個別を対象とした療育の時間を取り入れている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		毎日活動の見直しを行っている。指導室での設定活動の導入を行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			集団活動の機会をもう少し増やしていく。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼で都度確認を行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		都度確認を行っている。療育終了後にその日の振り返りを行っている。	非正規に伝わりにくい事がある為、連携の時間をとる。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々ケース記録の入力を行っている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参加している。	児童発達支援管理責任者のみならず、教室の療育担当職員も参加できるように検討する。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要に応じて行っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育所等訪問や送迎で情報共有を都度行っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		相互に見学を行い支援内容について理解をし、また、教育相談等を通じて情報共有に努めている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		愛媛県児童発達支援通園事業連絡協議会に参加している。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		施設開放の計画について検討予定。

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		地域自立支援協議会に参加している。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		コロナ禍である為に開催できず。今後オンラインでの開催検討。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行っている。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		オンライン(ZOOM)も導入した。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		モニタリング、計画説明、その他送迎時等適宜応じている。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		コロナ禍である為に開催できず。今後オンラインでの開催検討。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		適宜対応を行っている。苦情等については窓口も立て、周知して対応している。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月1回の保護者向けお便りにて発信している。ブログでも発信している。	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的支援を取り入れている。	
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ禍である為に開催できず。次年度検討。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○	
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			入園時に母子手帳のコピーをもらい把握している。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○		1年に1回、見直し、更新を行っている。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		月1回リスクマネジメント会議を行っている。 年に2回事例の分析を行っている。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年2回虐待防止会議を行っている。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		該当者なし。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。